

開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	5628 ジェンダー表象論			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	人数制限(抽選)			定員	120
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	○	全学開講	○
曜日時限	火曜4限				
教室	J301教室				
代表教員	津田 博幸				
担当教員	津田 博幸				
テーマと到達目標	「ジェンダー」とは生物的「性」に対する社会的・文化的に作られた「性」のこと。本講義では具体例として沖縄の主に前近代の文化を取り上げる。沖縄では女性の多くが神と男性との媒介をする存在、巫女としての役割を担っていた。もちろんこれは生物的女性性に基づく役割ではなく、文化の中で作られた役割、ジェンダー・ロールである。この沖縄の巫女たちについて考えつつ、ジェンダーへの深い理解に到達することを目標とする。				
概要	琉球王国時代の史料や王国時代の信仰を受け継ぐ現代の祭祀などによれば、沖縄の巫女たちは神の代理人であると同時に神そのものでもあった。その権力は強く、伝説では国王が巫女たちに拒否されて退位したこともあった。現代とはまったく異なるジェンダー・ロールが女性に割り当てられ、独特の社会が成り立っていたのである。ただし、沖縄の女性のジェンダー・ロールはおそらく特殊なことではなく、『魏志』「倭人伝」の卑弥呼や『千と千尋の神隠し』の千尋像とも通じていて、良くも悪くも人類の普遍性を持つ可能性がある。この点については文化横断的に考えてゆく。講義形式。なるべく楽しくやりたい。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	琉球王国の歴史概説。				対面授業
第2回	琉球王国の巫女の神話。				対面授業
第3回	久高島のイザイホー。				対面授業
第4回	琉球王国の巫女組織。				対面授業
第5回	歴史書に見る巫女と王権。				対面授業
第6回	琉球王国の神歌集『おもろさうし』概説。				対面授業
第7回	神歌に見る巫女と王権――王に聖性を与える巫女。				対面授業
第8回	神歌に見る巫女と戦争――王国の八重山征服と薩摩の侵略。				対面授業
第9回	最高巫女・聞得大君の就任式と「神の嫁」。				対面授業
第10回	木になった女――女性の過酷な現実と聖なる世界。				対面授業
第11回	宮古島のユタ（霊能者）の成巫過程。				対面授業
第12回	奄美大島のユタの成巫過程。				対面授業
第13回	巫女的キャラクターの普遍性――卑弥呼（『魏志』「倭人伝」）。				対面授業
第14回	巫女的キャラクターの普遍性――ナウシカ・千尋とプリキュア。				対面授業
第15回	まとめ――ジェンダー論から見る巫女。				対面授業
成績評価の基準	全授業時数の3分の2以上の出席と課題提出を必須とする。毎回ポータルを通して課題（その日の講義内容に対する理解の確認、発展的考察・質問などを200字以上）を提出（欠席した回の課題提出は不可）。毎回の課題の評点の総計で評価する。				
履修にあたっての留意事項	・後期の「神話と儀礼」も沖縄の巫女文化を論じるので合わせて履修してほしい。 ・オンライン授業の併用は原則として行わないが、受講者に病気等のやむをえない事情がある場合はZoom中継の視聴および講義後のZoom録画の視聴を認める。希望者は講義開始の30分前までにポータルの「授業Q&A」で申し出ること。ただし、Zoomでは教室で視聴する映像資料の中継はできない。なるべく教室での出席をお勧めする。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件	T学科の低学年から順に優先				

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	なし。		
教科書	プリントを配付。	教科書(ISBN)	
参考文献	授業中に適宜指示。	参考文献(ISBN)	